

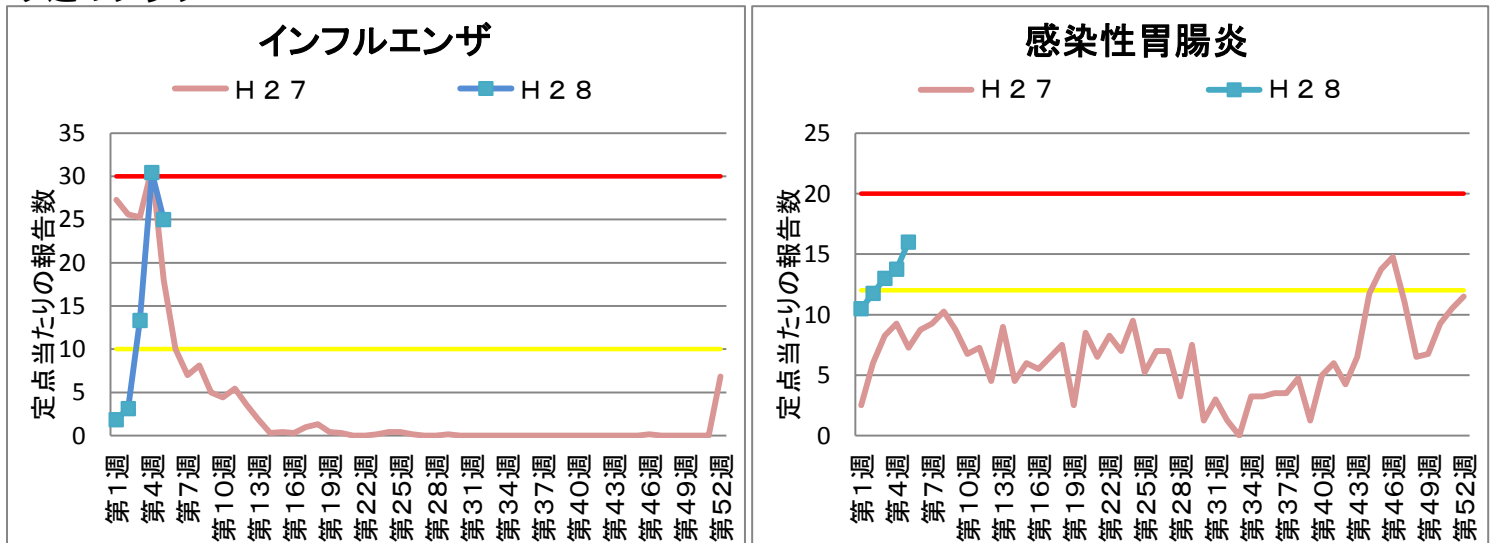
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 5 週 平成28年2月1日 ~ 平成28年2月7日

今週のコメント

- 第5週(2月1日~7日)の1定点医療機関当たりのインフルエンザに罹患された方の報告数は、第4週よりもやや減少し25となりました。全国のインフルエンザウイルスの分離では、A(H1N1)pdm09が最も多く、次いでB(ビクトリア系統)となっています。
- 感染性胃腸炎は、やや増加しています(1定点医療機関当たり16)。
- 感染を予防するために手洗い・うがいを心がけ、咳症状がある時はマスクをしましょう。
- 熱が出たときは無理をせず、医療機関を受診し、ゆっくり休養しましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	25	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.25
咽頭結膜熱	0.5	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	百日咳	-
感染性胃腸炎	16	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.5	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

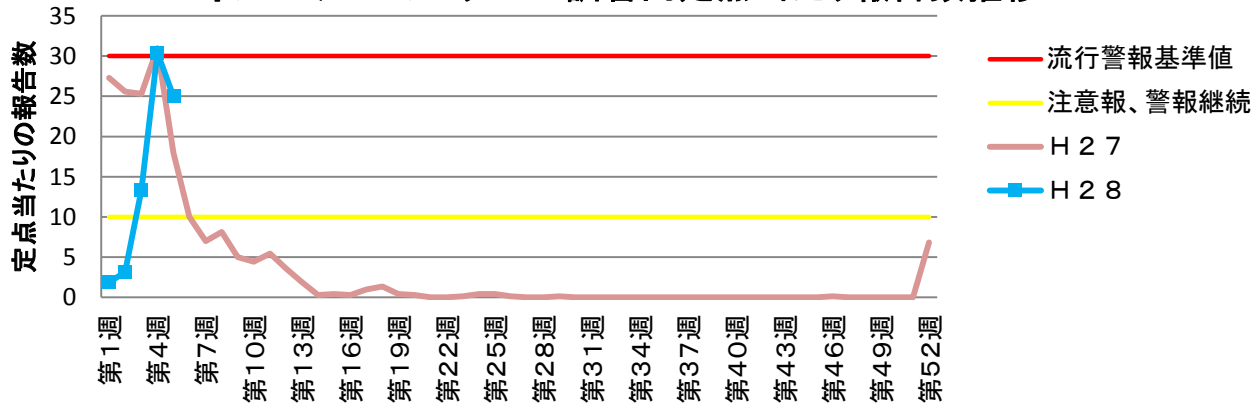
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

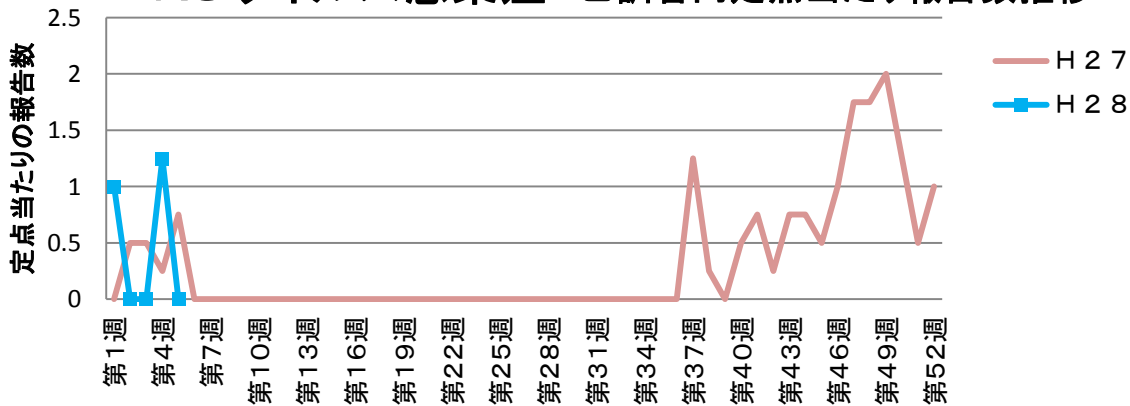
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

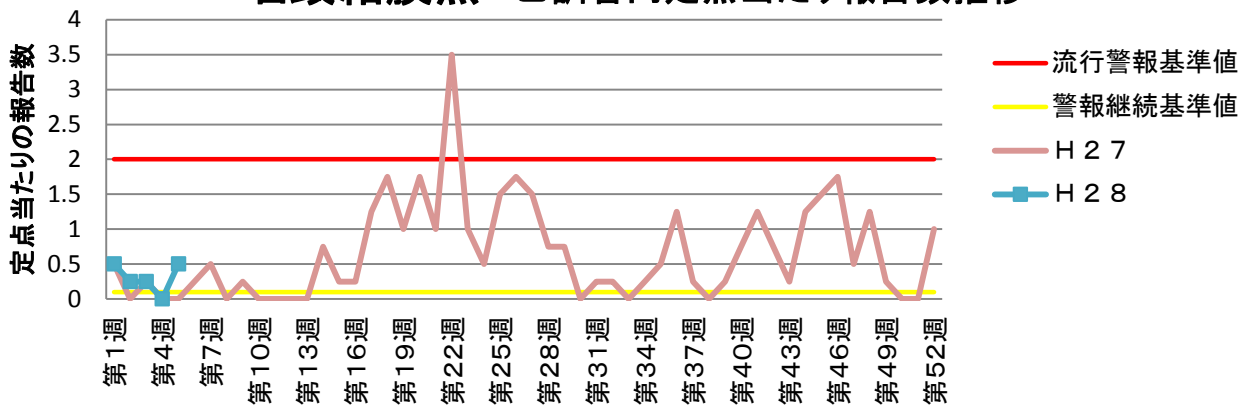
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



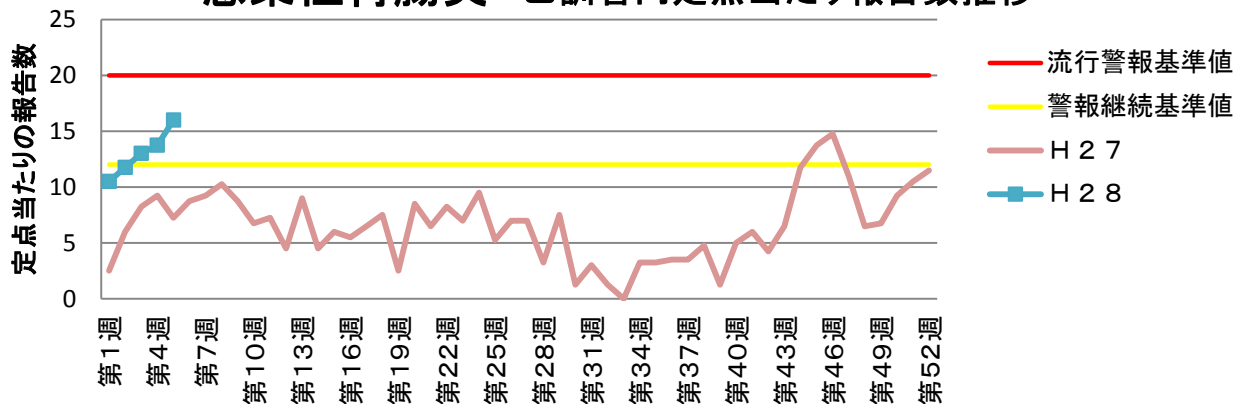
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



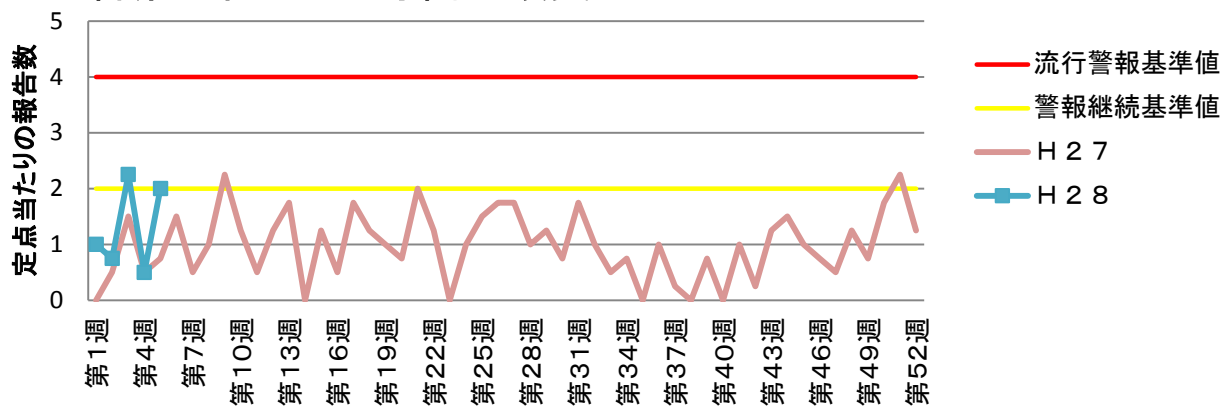
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



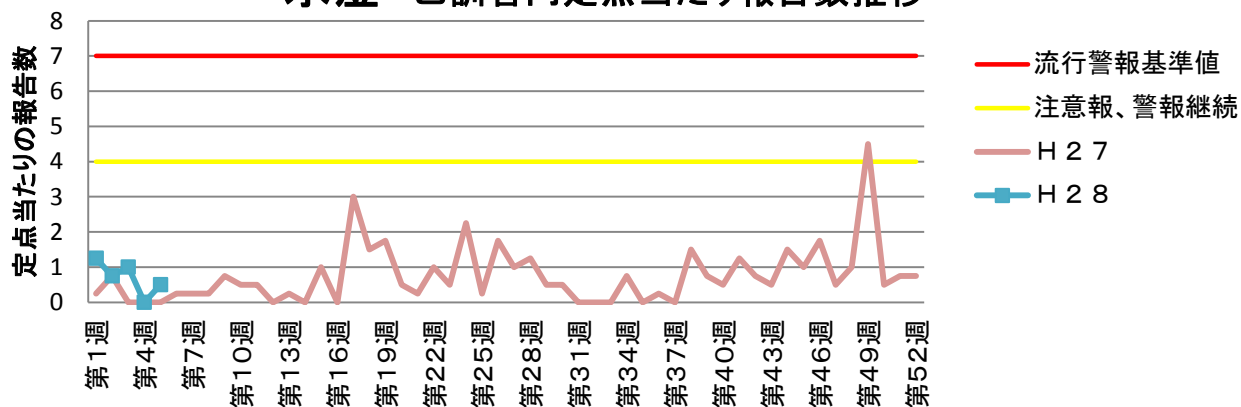
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



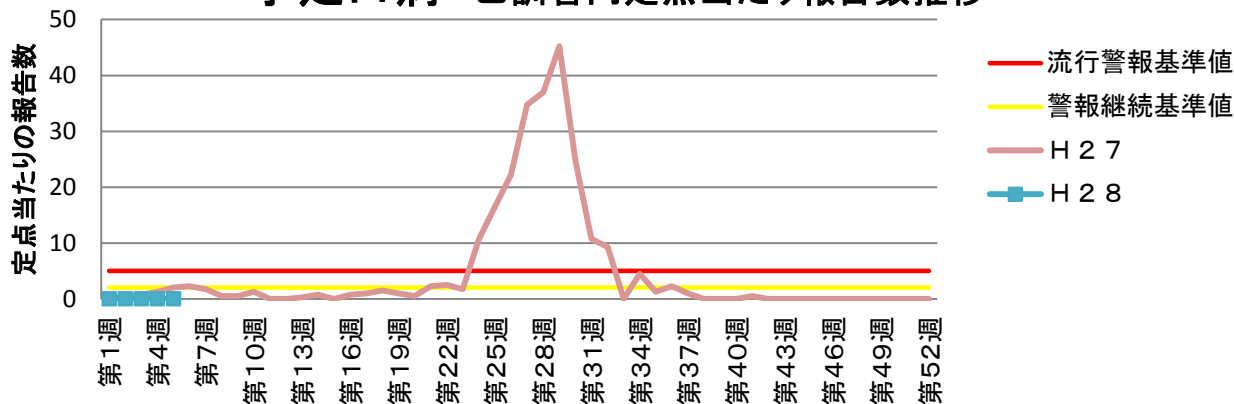
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



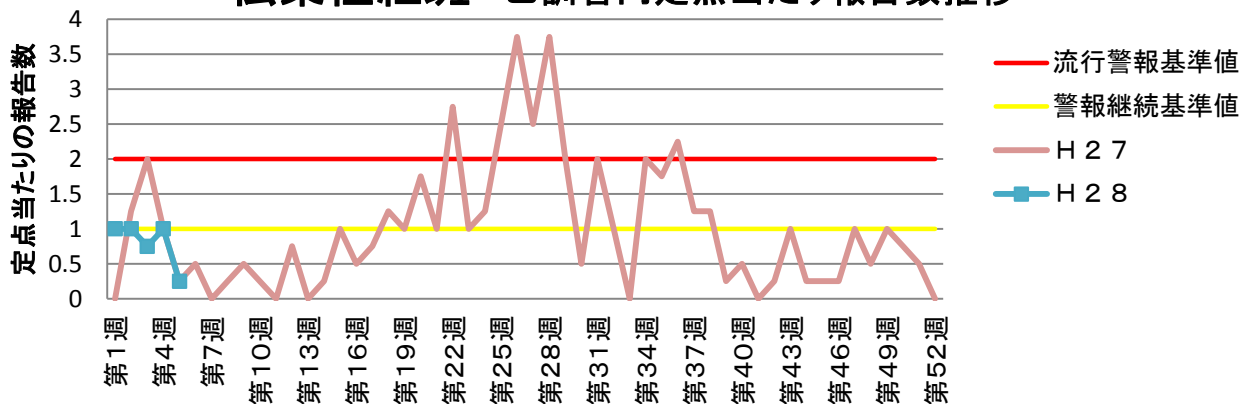
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



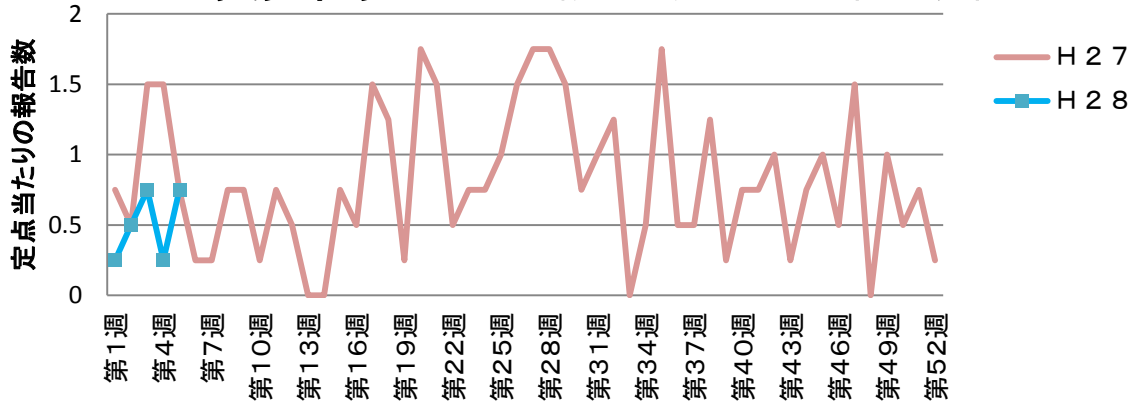
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



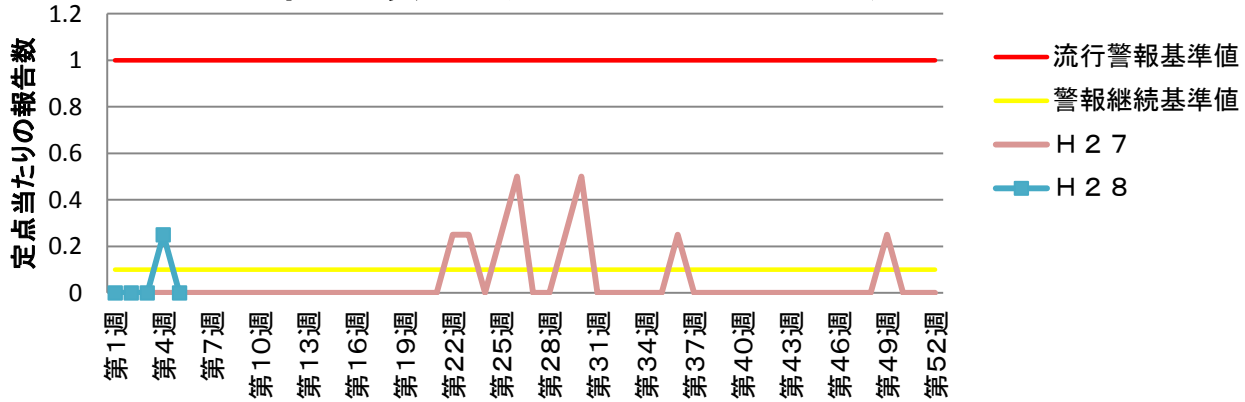
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



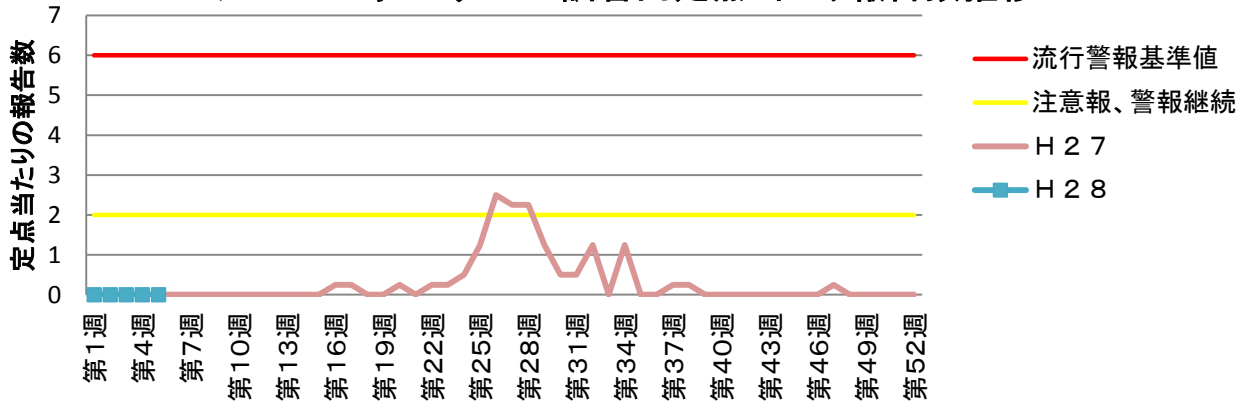
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

